

宮城県との包括連携協定締結に基づく企業間連携第1弾

IBEX TEAC

国産初機内ワイヤレスエンターテインメントサービスの
共同プロジェクトをスタート！

アイベックスエアラインズ株式会社(本社:東京都江東区・代表取締役社長:浅井孝男、以下 IBEX)は、先般締結した宮城県との包括連携に基づく取り組みを展開しています。

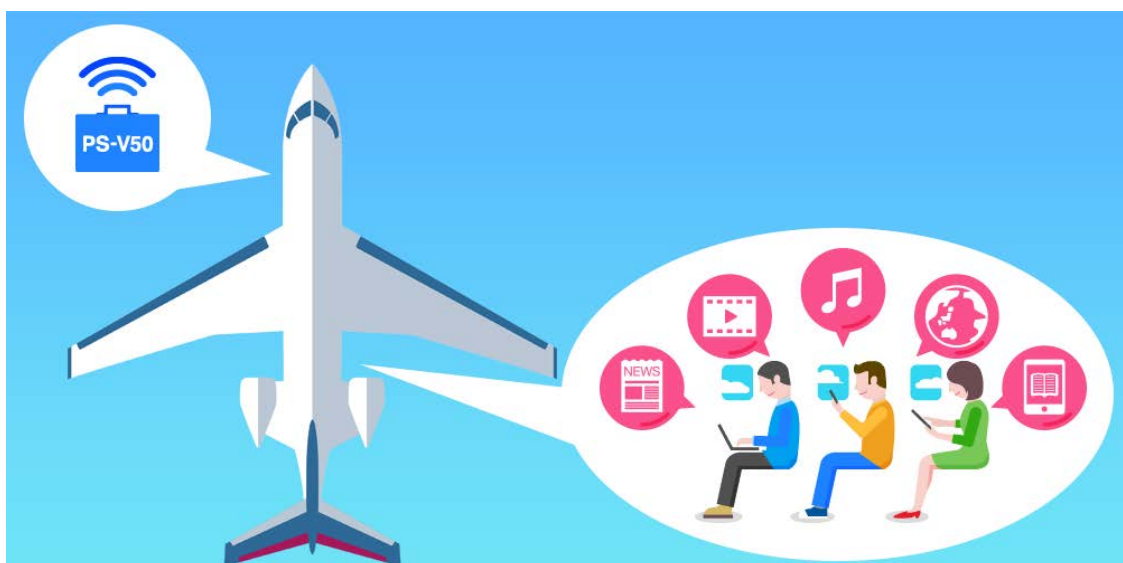
このたび、企業間連携第1弾として、ティアック株式会社(本社:東京都多摩市、代表取締役社長:英裕治、以下 TEAC)と国産初のポータブル式サーバーによる機内ワイヤレスエンターテインメントサービスの共同プロジェクトの実施を決定いたしました。

このサービスは、TEACが開発するポータブルストリーミングサーバー「PS-V50」を機内に搭載し、ストリーミング方式によりお客さまご自身のスマートフォン・タブレット端末などを通じて映像コンテンツを提供するサービスです。IBEXは「PS-V50」のローンチカスタマーとして、航空機内での実証試験の協力など実用化に向けた支援を行います。映像コンテンツについては、無料エンターテインメントサービスに加え、地域の魅力を発信する無料情報媒体と位置付け、地方創生・地方活性の具現化を図ります。

機内ワイヤレスエンターテインメントサービスは、2018年下半期を目途に導入いたします。具体的なサービス内容につきましては、確定次第あらためてご案内いたします。

TEACポータブルストリーミングサーバー「PS-V50」の詳細は、2018年4月10日発表のTEACプレスリリース(別紙)をご確認ください。

【機内ワイヤレスエンターテインメントサービスイメージ】





*DRM = デジタル著作権保護機能

【添付】 2018年4月10日発表 TEAC プレスリリース

「宮城県とアイベックスエアラインズ(株)による地方創生プロジェクトにおいて技術協力」

以上

2018年4月10日

報道関係各位

ティアック株式会社

宮城県とアイベックスエアラインズ株式会社による 地方創生プロジェクトにおいて、技術協力

ティアック株式会社(本社:東京都多摩市、代表取締役社長:英 裕治)は、1月に包括連携協定を結ばれた宮城県とアイベックスエアラインズ株式会社による地方創生プロジェクトにおいて、旅客機内のエンターテインメント事業への技術協力によりポータブルストリーミングサーバー PS-V50が導入されることとなりました。

宮城県 **IBEX**

■地方創生プロジェクトとは

アイベックスエアラインズ株式会社の航空ネットワークを生かし交流人口の拡大を図り、宮城県の魅力を発信し、仙台空港の利用促進や観光振興などを目的としたプロジェクト。

■ポータブルストリーミングサーバー PS-V50について

今回導入されたポータブルストリーミングサーバー PS-V50は、機内の任意の場所に設置しワイヤレス通信を利用し、乗客が所持しているスマートフォンなどの端末で、映像コンテンツなどのサービスを提供すること可能なポータブルサーバーです。

導入時の難題を解決し、欲しかったIFEサービスを手軽に、そしてスピーディに実現するだけでなく、IFE業界で25年以上の実績を誇るティアックが信頼の製品と万全のサポート体制をお届けします。



■主な特長



手荷物のようなポータブルサーバー

- ・手軽に機内に持ち込める小型軽量設計
- ・STC 認証不要



交換可能な大容量バッテリー

- ・長時間飛行にも対応できる連続 15H
- ・±3 時間を切る充電スピード



シンプルなシステム構成

- ・必要な機能を 1 ユニットに集約し、難しい設置作業は不要
- ・1 ユニットで 50 名同時視聴可能
- ・データアップロードは 2 方式 (USB メモリースティック、クラウド通信)
- ・ユーザーフレンドリーな Web ベースのユーザーインターフェース
- ・iOS、android、Windows のデバイスに対応



充実した機能

- ・最新の 3D-moving map 採用
- ・最新の DRM 機能搭載可能



安心の規格準拠

- ・DO-160 テストに適合した環境性能
- ・FAR25 に準拠した難燃素材を使用

■リンク

宮城県公式 Web サイト:<https://www.pref.miyagi.jp/>

アイベックスエアラインズ株式会社:<http://www.ibexair.co.jp/>

PS-V50 製品サイト:<http://teac-in-flight.com/products/ps-v50/>